

平成30年 第2回

区づくり推進横浜市会議員会議

会 議 資 料



中 区

中区区づくり推進横浜市会議員会議

目 次

議 題

1 平成 30 年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について

(1)平成 30 年度中区個性ある区づくり推進費予算……………P1～2

(2)平成 30 年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画……P3～31

地域の活力があふれるまちづくり

子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

<参考>

中区に係る予算のすがた(平成 30 年度一般会計予算)…………… P33～34

2 その他

平成30年度 中区個性ある区づくり推進費予算

1 30年度予算編成の基本的な考え方

【予算編成の考え方】

30年度の中区予算は運営方針の基本目標である「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～」の実現のため、次の4つの施策に沿って事業を展開し、中区制100周年に向けたスタートの年としていきます。

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 地域の活力があふれるまちづくり |
| 2 | 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり |
| 3 | 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり |
| 4 | 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり |

【戦略的な取組】

運営方針に基づく4つの施策による事業展開に加えて、中区がさらに安心で活力あふれるまちであることを目指して、30年度は、次の項目を重点的な取組とします。

<戦略1>誰もが安全・安心でいきいきと輝けるまち

- ・多文化共生の推進
- ・安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
- ・子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

<戦略2>活力を生む地域の賑わいづくり

- ・関内・関外エリアの回遊性向上（緑化フェアの継承・河川の魅力再発見）
- ・商店街振興や地域資源を活かした賑わいづくり

2 中区 個性ある区づくり推進費予算 区分別総括表

(単位:千円)

項目	30年度予算 A	29年度予算 B	増▲減 C = A - B	増減率 C / B
中区予算	558,690 (549,517)	558,712 (551,119)	▲ 22 (▲ 1,602)	0.0% (▲0.3%)
自主企画事業費	106,121 (101,396)	102,360 (101,220)	3,761 (176)	3.7% (0.2%)
一般管理費	452,569 (448,121)	456,352 (449,899)	▲ 3,783 (▲ 1,778)	▲0.8% (▲0.4%)
統合事務費	37,025 (36,915)	37,025 (36,915)	- (-)	0.0% (0.0%)
区庁舎・区民利用施設 管理費	415,544 (411,206)	419,327 (412,984)	▲ 3,783 (▲ 1,778)	▲0.9% (▲0.4%)

※30年度予算、29年度予算の上段は事業費、下段（ ）内は、一般財源の額を記載しています。

〈参考〉区局連携促進事業

1 緊急時情報システム運用試行事業 (669千円 連携局:総務局)

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して、区から直接、防災・減災活動の核である、地域の防災組織の長（自治会・町内会長等）及び即時避難勧告対象区域の世帯や要援護者施設等に対して発信します。双方向機能を活用したシステムの試行運用を引続き実施し、実務上の課題と事業効果を検証します。

2 外国籍等生徒に向けた放課後学習サポート事業 (2,627千円 連携局:教育委員会事務局)

主に区内中学校に通う中学3年生の外国籍及び外国につながる生徒を対象に、国際交流ラウンジと連携し、放課後を利用した教科学習や高校進学に向けた学習支援を実施します。

3 自主企画事業費で取り組む主な事業(30年度取組のポイント)

【戦略1】誰もが安全・安心でいきいきと輝けるまち

① 多文化共生の推進

事業名	30年度	29年度	差引
多文化共生推進事業	8,295 (5,087)	4,086 (4,065)	4,209 (1,022)
多言語での広報を充実します。外国人の転入者等へお渡しする「ウェルカムキット」(中区多文化共生推進アクションプランの重点行動計画の一つ)を生活に必要な情報を母語で伝え、より役に立つ案内になるよう作り直します。			本文ページ 29

② 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名	30年度	29年度	差引
地域防災力向上事業	6,732 (6,732)	6,970 (6,970)	▲238 (▲238)
地域及び企業に対する減災支援、実践的な訓練の実施等により、地域防災力の向上を推進します。また、中学生の意見を取り入れた中区防災ガイド(中学生版)を作成し、担い手の育成に取り組めます。			本文ページ 23

③ 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

事業名	30年度	29年度	差引
中なかいいネ!中区地域福祉保健計画推進事業	2,773 (2,773)	2,356 (2,356)	417 (417)
新たに子ども・高齢者・障害者・外国人等に係る地域活動に関心のある方や担い手を対象に分野別ワークショップを開催し、計画をさらに推進していきます。			本文ページ 18

事業名	30年度	29年度	差引
地域包括ケアシステム推進事業	1,997 (1,997)	2,195 (2,135)	▲198 (▲138)
高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、地域包括ケアシステムの構築を推進します。			本文ページ 17

事業名	30年度	29年度	差引
みんなで子育て事業	4,502 (4,492)	4,324 (4,314)	178 (178)
区内の保育所等において絵本貸出や育児相談などの取組を進めるほか、おでかけスポットマップの掲載情報を拡充するなど、身近な地域での子育て支援をさらに進めていきます。			本文ページ 13

【戦略2】活力を生む地域の賑わいづくり

① 関内・関外エリアの回遊性向上(緑化フェアの継承・河川の魅力再発見)

事業名	30年度	29年度	差引
中区まちづくり推進事業	3,424 (3,124)	3,504 (3,504)	▲80 (▲380)
回遊性の向上を目指し、ガーデンシティ横浜と連携した、花・緑による魅力ある空間の創出(日本大通り等)や区民乗船体験等を通じた河川の魅力の再発見により、区内の魅力向上に取り組めます。			本文ページ 4

② 商店街振興や地域資源を活かした賑わいづくり

事業名	30年度	29年度	差引
中区商店街魅力アップ事業	1,200 (1,200)	800 (800)	400 (400)
商店街のさらなる賑わいを目指し、商店街活性化に向けた広報活動等を行います。			本文ページ 6

事業名	30年度	29年度	差引
賑わいづくり推進事業	2,000 (2,000)	- (-)	2,000 (2,000)
地域主体による賑わい創出の仕組みづくりに向け、本牧通り周辺エリアをモデルケースとして取り組みます。			本文ページ 5

【その他の取組】

事業名	30年度	29年度	差引
感動区役所推進事業	20,224 (20,224)	15,526 (15,526)	4,698 (4,698)
中区庁舎(本館)について、案内サインの更新を行うとともに、来街者の回遊性等も考慮した区庁舎外周りの仕様について検討を行います。			本文ページ 28

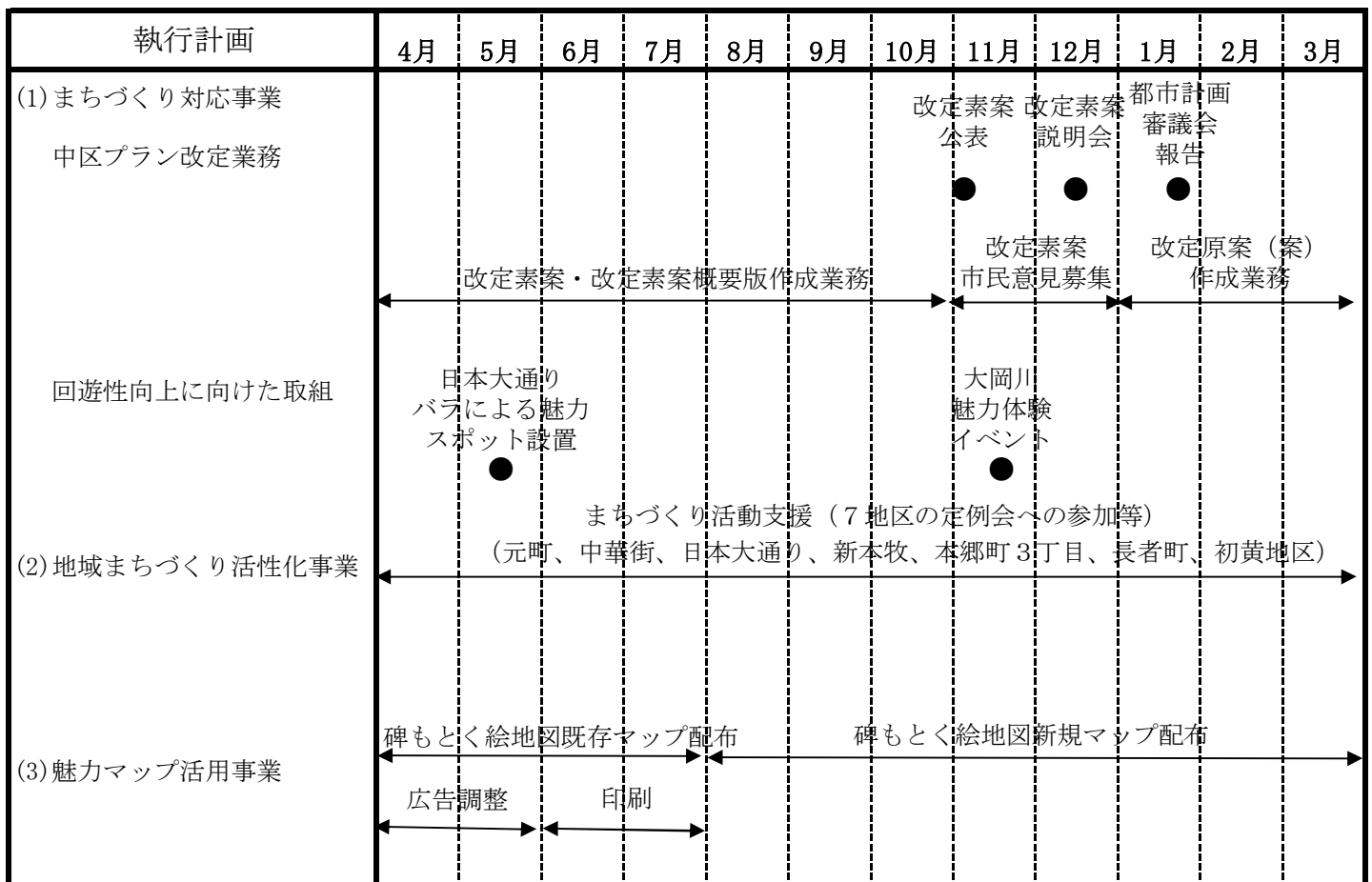
平成30年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業費執行計画

1 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1. 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性化及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげます。</p> <p>(1) 仁川広域市中区 (490千円) : 友好交流協定 (22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き協定に基づき事業を推進します。</p> <p>(2) 岩手県釜石市 (150千円) : 友好交流協定 (26年3月締結) 当区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結。引き続き被災地の状況に応じた支援を行うとともに相互交流を推進します。</p> <p>(3) 埼玉県飯能市 (540千円) : 友好交流協定 (26年3月締結) 鉄道5社相互直通 (25年3月) を契機に協定締結。両市の鉄道会社・商工会議所を含めた6団体からなる友好交流協議会を設置し、イベント交流事業 (飯能新緑ツーデーマーチ (5月)、ハローよこはま (10月) 等) に出向いての相互PR・誘客に取り組みます。また、31年8月に協議会設置5周年を迎えることから、周年イベントの計画を検討します。</p> <p>(4) 群馬県嬭恋村 (275千円) : 友好交流協定 (28年2月締結) 嬭恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰行事を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結。つまごい祭り (7月) やハローよこはま (10月) 等での相互PRや、本市ホームページを充実させる等、広報によるシティプロモーションに取り組み、相互誘客につなげます。</p>
予算額	1,455千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 仁川広域市中区					●							
					仁川市中区民の日ビデオメッセージ送付							
(2) 岩手県釜石市							●					●
							現地支援					防災・減災講演会
(3) 埼玉県飯能市												
・飯能市・横浜市中区友好交流協議会 (年4回)、代表者会議開催 (年1回)	●			●				●			●	●
・「飯能新緑ツーデーマーチ」への中区民招待イベント		●										
・両都市でのイベント相互PR							●	●				
・両都市での広報相互PR												
(4) 群馬県嬭恋村												
				●			●					●
				つまごい祭り (7/28)			ハローよこはま (10/7)					三塔の日 (3/10予定)

事業名	事業内容
2. 中区まちづくり推進事業	<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。皆様が安心して生活し、働き、訪れたい魅力ある中区の実現を目指してまちづくりを進めています。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行います。</p> <p>また、30年度は地域資源を活かし、区内・関外エリアの回遊性の向上を目指した取組を進めます。</p> <p>(1) まちづくり対応事業 (2,865千円) 【拡充】</p> <p>ア 横浜市都市計画マスタープラン中区プラン改定素案及び改定原案(案)の作成に向けた取組を進めます。</p> <p>イ 緊急性・必要性の高い課題などについて、関係課等と連携して対応します。</p> <p>ウ ガーデンシティ横浜と連携した、花・緑等による魅力ある空間の創出(日本大通り等)や区民乗船体験等を通じた河川の魅力の再発見により、区内の魅力向上に取り組み、回遊性の向上を目指します。</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業 (259千円)</p> <p>ア 地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール・プラン策定や策定後の運用等の支援をしています。</p> <p>イ 地震火災対策として、関係局と連携し、燃えにくいまち・燃え広がらないまちの実現に向けた取組を進めます。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 (300千円)</p> <p>まち歩きや小中学生の校外学習向けに配布している「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第6版を発行します(30,000部)。</p>
予算額	3,424千円
所管課	区政推進課



事業名		事業内容
3. 賑わいづくり推進事業 【新規事業】		<p>区制100周年を見据え、地域の様々な背景をもった組織・団体・地域の人々と行政が連携し、地域主体による「横浜・本牧」の賑わい創出に取り組みます。</p> <p>事業開始年度となる30年度は「本牧賑わい推進委員会（仮称）」を設置し、本牧の賑わいに資する取組等の企画・検討及び支援を行います。</p> <p>○本牧賑わい推進委員会（仮称） 本牧通り周辺エリアにおいて地元の核となる区民を中心に組織します。</p> <p>(1) 目的 ア 区制100周年を見据え、地域と行政が一緒になり「横浜・本牧」のブランド力の復権に取り組みます。 イ 本牧の様々な背景をもった組織・団体・地域の人々が力を合わせ、イベント等に取り組むという機会を創出します。 ウ 本牧の賑わいを持続可能なものとしていくため、地域が主体となって、事業を企画・検討し、参加者のつながりを深められる人材を発掘し、育成に努めます。</p> <p>(2) 活動等の支援・連携 本牧が語られる際、「お馬流し」「ジャズ」「アメリカ」等、様々なトピックがあり多くの地域住民がそれぞれに愛着や誇りを持っています。こういった地域資源を本牧の魅力としてアピールしていきます。 あわせて、地域が主体となった賑わい創出の取組やイベントを支援、連携することで、本牧エリアのブランディング化を進めていくとともに、「本牧」を広く発信する仕掛けを検討します。</p>
予算額	2,000千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区役所	← 30年度事業の企画・検討・実施 →											
地域	← コンサル業者の選定・契約 →		← 委員選定に向けた調整 →			← 次年度事業に向けた検討調整 →						
本牧賑わい推進委員会（仮称）	← 委員選定に向けた調整 →					● 委員会発足	← 本牧の賑わいづくりに向けた取組への支援・連携 →					
その他	← (仮) 本牧ハワイアンフェスタ(9/16) →											

事業名	事業内容
4. 中区商店街魅力アップ事業	<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指し、商店街活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業 (600千円) 【拡充】</p> <p>ア 商店街紹介ホームページの更新 中区ホームページに設置した商店街を紹介するページを適宜更新し、内容の充実を図ります。</p> <p>イ 中区商店街紹介映像の充実 中区内にある商店街の魅力を紹介する映像を作成、区役所の待合スペースのモニターや中区ホームページで流し、来庁者に中区の商店街の魅力をPRします。</p> <p>ウ 小学生の商店街お仕事体験 地域で成長していく子どもたちが街の商店街に愛着を持つような仕組みづくりを区、学校、地域が連携して実施します。</p> <p>(2) ハローよこはまへの商店街ブース出店 (600千円) ハローよこはまの会場に商店街エリアを設け、商店街の各店舗がそれぞれの商品やサービスを提供することで、来場者に広く中区の商店街の魅力をPRします。</p> <p><参考> (経済局区配付予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中区商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対し、1団体25万円を上限に補助を行います。
予算額	1,200千円
所管課	地域振興課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 商店街広報活動事業												
ア ホームページの更新	← HHPの更新 (適宜) →											
イ 紹介映像の充実			← 企画検討・調整 →				← コンテンツ作成 →			●		
ウ 商店街お仕事体験			← 学校・商店街調整 →				← 体験実施 →					
(2) ハローよこはま出店	● 区商連 説明	● 募集	← 出店調整 →			● 出店 (10/7)						
<参考：経済局区配付予算>												
商店街活性化イベント補助金	● 説明会 (4/4)	← 交付申請書 受理・審査 →	← 交付決定 →			← 事業報告書 受理・審査 →	← 交付確定 →			← 請求書受理 補助金交付 →		

事業名	事業内容
5. ハローよこはま 2018	<p>「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表の機会創出」を目的として、中区民祭り「ハローよこはま」を開催します。</p> <p>開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できる、区民主体のイベントとすることで、区民同士の新たなつながりに寄与します。また、区内外の企業とも連携し、開催を通して中区の魅力や活力を広く発信することで、区外からの来街者も楽しめる、賑わいあるイベントとします。</p> <p>(1) 開催日・会場（予定） ア 日程：10月7日（日） ※荒天順延の場合は翌8日（月・祝） イ 会場：日本大通り、横浜公園、象の鼻パーク</p> <p>(2) 実施内容 ア 子ども・地球環境・福祉・防災等をテーマとした区民団体及び協賛企業・団体によるブース展開（約130店） イ 区民団体等による活動発表及び中区らしい国際色あるステージ展開（約25団体） ウ 「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」等との連携 エ 保健・衛生・医療に関するテーマによる「元気フェスタ21」の同時開催</p>
予算額	2,925千円
所管課	地域振興課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ハローよこはまの開催							記者発表 ● ●開催 (10/7)					
実行委員会の開催		●第1回総会 (5/21)					●第2部会、第2回総会					
委託契約		←→委託内容検討	●委託業者決定				→出店レイアウト、ステージ構成検討・調整					
			●プロポーザルヒアリング									
広報計画				←→			→ポスター・プログラム・大看板作成					
					←→		→HP開設、ポスター配布、広報よこはま・なな区版掲載					
協賛企業・団体調整			←→				→協賛企業・団体の募集					
				←→			→協賛企業・団体の出店、広報調整					
出店者調整			←→				→出店者の募集					
				←→			→出店レイアウト検討・調整					
ステージ出演者調整			←→				→出演者の打診					
				←→			→ステージ構成検討・調整					
公式記録集の作成										●業者発注		→作成

事業名		事業内容
6. 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携と協力関係を深めます。また、18区中17位となっている加入率（29年4月1日現在63.8%）の向上を目指すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会長感謝会（860千円） 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動している自治会町内会長に感謝の意を表すために感謝会を開催します。また、永年勤続の会長に対し、市長表彰の報告及び区長表彰を行います。</p> <p>(2) 自治会町内会活動支援（45千円） 自治会町内会実務担当者向け研修会の開催、自治会町内会と行政との連絡調整（区連会定例会運営等）及び補助金交付事務等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(3) 自治会町内会加入促進（338千円） 自治会町内会と連携し、町内会チラシの作成支援等の加入促進に取り組みます。今年度は新たに、各町内会のイベントなどで配布できるように、自治会加入申込書のハガキを作成し、自治会町内会への加入促進を支援します。 また、未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。</p> <p>(4) 掲示板整備補助事業（1,600千円） 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p>
予算額	2,843千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 自治会町内会長感謝会								← 通知・調整・準備 →				●
(2) 自治会町内会活動支援		← 申請書受理 →		← 審査・決定・補助金交付 →								
補助金交付事務	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●
中区連合町内会長連絡協議会定例会	4/19	5/18	6/19	7/19		9/19	10/19	11/19		1/18	2/19	3/19
中区連合町内会長連絡協議会企画委員会	●	●		●								
自治会町内会長等研修会・実務研修会	4/11	5/9					研修会	●			実務研修会	●
(3) 自治会町内会加入促進		← 募集案内 →		← 連携先決定 →			← 加入促進策検討・実施 →					
自治会町内会と連携した加入促進策の実施		●		●								
加入促進支援				← 主に新築マンション、転入者を対象とした加入促進支援 →								
(4) 掲示板整備補助事業			← 申請書受理 →		← 審査・決定、請求書受理、補助金支出（随時） →							
町内会掲示板整備補助事業												

事業名	事業内容
7. 花いっぱい明るいまち事業	<p>本事業では、主にゴミの不法投棄や違法駐輪が問題となっている場所に、区民（町内会、ハマロードサポーター、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで不法投棄等をされにくくするための環境整備等に取り組みます。また、夏場の省エネ対策として、公共施設等に花緑のカーテンを設置し、緑化の普及啓発を行います。</p> <p>さらに、来街者へのおもてなしが求められる中、大規模なイベント等に向けたイベント対応型花壇を設置して、歓迎とおもてなし気運の向上、市民等へのPRに取り組みます。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策 (550千円) 花苗提供 1800株 花壇設置・維持管理 10か所 実施箇所 本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町、打越橋、柏葉公園、西の橋、山手駅、長者町、黄金町、竹之丸保育園 花緑のカーテン設置 4か所 実施箇所 山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所</p> <p>(2) 普及啓発 (50千円) ア 園芸講習会 (年2回) イ 概要 9月 秋季園芸講習会 31年2月 冬季園芸講習会 参加予定者数各25人</p> <p>(3) イベントおもてなし (650千円) ア イベント対応型花壇 イ 対象イベント Garden Necklace YOKOHAMA 他 ウ 場所 開港広場、日本大通り 他</p>
予算額	1,250千円
所管課	中土木事務所

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策			●	●				●	●			
花苗提供・花壇設置			花苗800株 花壇7箇所	花苗200株				花苗800株 花壇3箇所				
花緑のカーテン			←—————→ 花緑のカーテン4箇所 (山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所)									
(2) 普及啓発						●					●	
						園芸講習会					園芸講習会	
(3) イベントおもてなし			←—————→ 開港広場 植樹～維持管理									

事業名		事業内容
8. 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進しています。また、区の地域性に応じて策定した読書活動推進目標に基づき、区役所・図書館・学校・区民利用施設のほか、読み聞かせなどの地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター）（1,718千円）</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なか区民活動センター祭り（10月7日）、登録団体との連携講座、多文化共生ボランティア活用事業（外国人向け工場見学）、中区民利用施設スタンプラリー、街の先生ガイド発行 等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行（隔月発行） 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（月2回）</p> <p>(2) 区民活動スタートアップ支援事業（150千円） 自立的な活動支援のため、活動初期の団体の事業に対し補助金交付</p> <p>(3) 生涯学習事業（220千円） 地域課題解決のため、地域で活躍する人材の発掘・育成を行います。</p> <p>(4) 文化活動支援（130千円） 特別共催の2事業の実施のほか、共催・後援事業の支援を行います。</p> <p>(5) 読書活動推進事業（224千円）</p> <p>ア 読書関連施設との連携 読書活動推進連絡会（年3回）及び「なか区ブックフェスタ」（10～11月）の開催</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはまへの出展（10月7日）、区内施設（エリスマン邸・大佛次郎記念館）との連携イベントの開催（11月）</p>
予算額	2,442千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 区民活動支援事業 （なか区民活動センター）			● 団体連携講座		● 団体連携講座		● 団体連携講座	● 読書推進事業				
ア 人材育成・市民活動支援事業				● 夏休み工場見学（ボランティア活用）			● センター祭り		● 街の先生養成講座			● 団体連携講座
イ 情報提供・発信事業	● 情報誌発行	● 街の先生ガイド発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行	● 情報誌発行
		● 街の先生パネル展			● 区民利用施設ネットワーク会議		● 区民利用施設スタンプラリー		● 区民利用施設ネットワーク会議	● 団体支援講座		● 区民利用施設ネットワーク会議
	← 情報収集・登録、相談、ちらしまとめ発送、風おこせ事業支援 →											
(2) 区民活動スタートアップ支援事業	← 募集	← 審査	● 交付									報告
	← 補助事業実施（6月～3月） →											
(3) 生涯学習事業		● タウンピクニック							● タウンピクニック		● タウンピクニック	● タウンピクニック
						● 親子サークルリーダー研修						
(4) 文化活動支援 特別共催		● アンサンブル山手パロッコ										● 本牧ジャズ祭
(5) 読書活動推進事業												
ア 読書関連施設との連携			● 読書活動推進連絡会			● 読書活動推進連絡会			● 読書活動推進連絡会			● 読書活動推進連絡会
イ 読書啓発イベントの開催							● ハローよこはまへの出展					● 関係団体との連携イベントの開催

事業名		事業内容
9. 開港記念会館事業		<p>横浜市開港記念会館は、中区公会堂として貸館業務を行うとともに、横浜三塔の日イベント開催及び多言語リーフレットの作成・配布等により建物の魅力を市内外にPRし、利用者及び見学者の増加に向けて取り組んでいきます。</p> <p>(1) 三塔の日イベント開催 (1,000千円) (31年3月10日) 横浜三塔の魅力を発信し中区の活性化を目指して、開港記念会館(ジャック)、横浜税関(クイーン)、神奈川県庁(キング)で連携し、コンサート、講演会、ワークショップ等を開催します。</p> <p>(2) 見学者向けリーフレットの作成 (300千円) 施設見学者向けに多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)のリーフレットを改訂し、配布します。</p> <p>(3) 開港記念会館の運営等 (480千円) 開港記念会館の運営に係る庁内備品費ほか。</p> <p><参考> ・工事による休館 11月5日から12月28日まで受変電設備等更新工事及び空調設備更新工事により休館し、講堂等の貸出しや見学はできません。 事務室のみ9時から19時まで短縮営業します。 12月29日から1月3日までは、年末年始休館です。 (市民局予算) ・開港記念会館保存活用検討事業 (60,000千円) 市民の貴重な文化資源である観光資源でもある開港記念会館を適切に保存し、施設の魅力向上を図るため、躯体の現況調査を実施するとともに保存活用の内容を検討します。</p>
予算額	1,780千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 三塔の日イベント開催						調整			チラシ作成	横浜三塔の日●	チラシ配布	
(2) 見学者向けリーフレットの作成										準備		
(3) 開港記念会館の運営等				ジャックサポーターズ塔のぼり●		開港記念会館の運営等		利用案内デザイン・印刷			ジャックサポーターズ塔のぼり●	
									受変電設備等更新工事			
									空調設備更新工事			

事業名		事業内容
10. スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、スポーツ推進連絡協議会や青少年指導員協議会等の関連団体と連携して事業展開していきます。また、ラグビーワールドカップ2019[™]や東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みます。</p> <p>(1) スポーツ交流促進事業 (2,290千円) ア スポーツ推進委員活動支援 (地区活動、研修会、大会等) イ 体育協会活動支援 (スポーツの区民大会開催や情報提供等)</p> <p>(2) 青少年指導員活動支援事業 (2,125千円) ア 青少年指導員活動支援 (地区活動、研修会等) イ 社会環境浄化活動支援 (区内のパトロールの実施等)</p> <p>(3) 地域青少年育成団体支援事業 (445千円) 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に、事業費を補助</p> <p>(4) 青少年交流事業 (377千円) なかくっ子クルーズ (6月)、小学生フットサル大会 (31年3月)</p> <p>(5) 文明開化ウォークラリー推進事業 (445千円) 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体 (青少年指導員・スポーツ推進委員) が主体となり開催 (5月)</p> <p>(6) 中区民健康づくり推進事業 (1,520千円) ア 区内小学生国際なわとび推進事業の実施 (31年1月) イ ラジオ体操普及事業の実施 (地域指導者講習会、地域への指導者派遣) ウ ランニングクリニックの実施 (12月・31年1月)</p> <p><参考> (市民局区配付予算) ・大規模スポーツイベントの機運醸成事業 (1) ラグビーW杯：小学生ラグビー教室や体験型イベントなど4事業ほか実施 (中スポーツセンターやYC&ACグラウンド、ハローよこはま等を活用) (2) オリンピック・パラリンピック：開催種目体験 (会場：大通公園を予定)</p>
予算額	7,202千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) スポーツ交流促進事業 ア スポーツ推進委員活動支援 イ 体育協会活動支援	● 常任理事	● 5/30 総会				←→ 屋内施設利用調整	● ハローよこはま 出店	● 小学生ドッジ ボール大会			● ソフトバレー ボール大会	● 広報誌 発行
(2) 青少年指導員活動支援事業 ア 青少年指導員活動支援 イ 社会環境浄化活動			● 7/29山下会子 もフェスタ	● 一斉パトロール	←→	● 有害図書類 区分陳列調査				● なかくっ子 フェスティバル		
(3) 地域青少年育成団体支援事業		● 申請 受理	● 補助金交付			各団体が実施計画に基づき事業実施						
(4) 青少年交流事業			● 6/22 なかくっ子クルーズ							● ENEOS少年 フットサル大会	● YC&AC フットサル大会	
(5) 文明開化ウォークラリー推進事業	● 試走	● 5/20 ウォークラリー		● 次年度検討会				● 次年度検討会			● 次年度検討会	
(6) 中区民健康づくり推進事業			● 6/16	←→					←→		● 小学生 縄跳び大会	
		● ラジオ体操 研修		● ラジオ体操指 導者地域派遣					←→	● ランニングクリニック 3回予定		
	←→ 小学生スポーツリズムトレーニング・縄跳び教室											

2 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1. みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が、身近な地域で安心して子育てできるとともに、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所等の資源や特性を生かして、地域での子育て支援を推進します。また、学齢期の児童生徒も含め、学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子育てのできる環境づくりを支援します。</p> <p>(1) グランマ保育園 (2,593千円) 【拡充】 区内の保育所・横浜保育室等において、絵本貸出・施設開放・育児相談・一時保育など、在園児以外も含めたすべての乳幼児期の子どもが利用できる子育て支援の取組を行います。また、公立園では育児支援ルームの開放や「親子の保育体験」を行います。</p> <p>(2) 「おでかけスポットマップ」の改訂 (720千円) 【拡充】 子ども連れで安心して楽しめるスポットをまとめた「おでかけスポットマップ」を改訂し、内容を充実させ、子育て情報を分かりやすく提供します(発行予定部数:6,000部)。</p> <p>(3) 外遊び応援事業 (100千円) 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間作りができるよう、身近な公園での外遊びの機会を作ります。(年5回予定)</p> <p>(4) 保護者向け保育所等情報提供 (339千円) 待機児童ゼロを目指して、中区独自の「中区保育所等のしおり」を作成し、区役所や保育所、ケアプラザ等で配布するとともに、開港記念会館で保育所等利用申請説明会を10月に開催し、利用申請の方法や各園の情報、様々な保育サービス、保育園での過ごし方などを紹介します。</p> <p>(5) 学校・家庭・地域連携事業 (750千円) 学齢期において、学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子どもの学習環境や生活環境を整えます。</p> <p><参考> (こども青少年局区配付予算) ・「はじめまして幼稚園～中区幼稚園説明会～」の実施(7月予定) ・「中区保育園駅伝大会～チューリップ杯～」の開催(11月予定)</p>
予算額	4,502千円	
所管課	こども家庭支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) グランマ保育園	こんにちは赤ちゃん訪問員、乳幼児健診等での利用者向け事業周知、未実施園への事業依頼(通年)											
(2) おでかけスポットマップの改訂	企画・検討		アンケート等により情報収集				情報の編集			印刷・配布		
(3) 外遊び応援事業		● 第1回	● 第2回			● 第3回	● 第4回					● 第5回
(4) 保育所利用に関する情報提供 ・ 中区保育所等利用のしおり ・ 保育所等利用申請説明会					原稿作成・発注	●	印刷・発注	●				
					チラシ作成準備	●	説明会広報・開催	●				
(5) 学校・家庭・地域連携事業	運営委員会による事業実施(通年)											

事業名	事業内容
2. みんなでSTOP ザ虐待	<p>安心して子育てができるよう地域での見守り力づくりを推進します。また、保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。</p> <p>(1) 学齡期家庭向け支援強化プログラム(998千円) 生活困窮や養育困難等の課題を抱える家庭の児童自身が生活をしていくためのスキルを身につけるきっかけとなるような体験会を実施します。</p> <p>(2) 地域の見守り力アップ事業(264千円) 児童虐待防止に関する地区別研修を継続実施するとともに、関係者向け研修を実施します。また、学校関係者と学び合う研修・事例検討会をスーパーバイザーを活用し実施します。</p> <p>(3) 赤ちゃん学級(432千円) 初めての子育てを安心してスタートできるよう、第1子の養育者を対象に、身近な地域で仲間づくりや子育ての知識を学ぶことのできる教室を開催します。(7会場:各会場年10回)</p> <p>(4) 乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等(701千円) 支援が必要な乳幼児を持つ養育者が具体的な育児方法を学ぶことのできる教室や講座を開催します。(ベビーマッサージ教室6コース、発達障害児支援教室・乳幼児養育者に対する教室 各教室月1回)</p> <p>(5) ひとり親家庭に対する相談支援の強化(836千円) 児童扶養手当の現況届の手続に来庁する機会を捉えて、生活状況の聞き取りや各種手続の支援を丁寧に行うことで、ひとり親家庭に対する相談支援を強化します。</p> <p>(6) 乳幼児健診の充実(1,716千円) 乳幼児健診について、きょうだい児連れや外国籍の方が受診しやすい環境を整えます。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行います。</p>
予算額	4,947千円
所管課	こども家庭支援課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)学齡期家庭向け支援強化プログラム					こども向け		親向け		学校向け			
(2)地域の見守り力アップ事業						地区別 研修	保育園 向け研修	全体向 け研修				
(3)赤ちゃん学級	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●
(4)乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等	←-----→											
(5)ひとり親家庭に対する相談支援の強化			←-----→		集中面接	←-----→						
(6)乳幼児健診の充実	←-----→											
《参考》												
・要保護児童等対策事業			●			●		●			●	●
		連絡会 進行管理				進行管理		進行管理 オレンジ リボン キャン ペーン			進行管理	連絡会

事業名	事業内容
3. 寿地区保健対策事業	<p>寿地区居住者に対して、生活習慣病予防や食生活改善等の保健対策を推進します。また、結核予防対策として、健診勧奨を適切に行い結核健診を実施するとともに服薬支援体制の充実を図ります。</p> <p>(1) 保健対策事業 (200千円) 寿地区居住者に対し、生活習慣病予防や食生活改善を行い、健康な生活を送れるよう支援します。 ア 栄養相談・指導 寿町勤労者福祉協会との連携による住民向け講座 (5月29日) イ 歯科相談・指導 寿町勤労者福祉協会との連携による住民向け講座 (5月29日) ウ 在宅看護・介護従事者、関係機関への研修実施 (5月11日・25日・10月)</p> <p>(2) 結核対策事業 (315千円) 結核の早期発見・早期治療を目指し結核検診を実施します。また、確実な治療完了を目指し関係機関と連携した服薬支援を実施します。 ア 結核検診の実施：集団検診、医療機関委託による個別健診 イ 服薬支援の実施：結核患者の直接服薬確認療法 (DOTS) の実施 (ア) DOTS実施医療機関との月1回のカンファレンス (イ) 医療機関、DOTS実施薬局との連絡会の実施</p> <p><参考> (健康福祉局区配付予算) ・個別栄養・健康相談 ・結核特別対策の実施</p>
予算額	515千円
所管課	福祉保健課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 保健対策												
ア 栄養相談・指導		● 5/29				予約相談 (月2回)						
イ 歯科相談・指導		● 5/29										
ウ 関係者研修		● 5/11, 25					●					
(2) 結核対策												
ア 結核検診 集団検診	● 出張 4/20							● 出張 11/2				
		● 日本語学校 6/11, 15						● 日本語学校 11/6, 7				
		● アルク 6/22						● アルク 11/27				
個別検診												
イ 服薬支援				● 介護予防でい					● 無料低額宿泊施設			
						● 医療機関とのカンファレンス (月1回)						
						● 連絡会						

事業名		事業内容
4. 健康アシスト事業		<p>運動や栄養等の健康に関する啓発を実施し地域等と協働で、ウォーキング等の区民の健康づくり活動の支援や環境づくりを展開します。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業 (1,350千円) 健康測定(骨密度測定等)や食生活指導等を実施し、生活習慣を振り返り、生活習慣病予防の大切さや効果を認識するきっかけを作ります。 ア 4か月児健康診査会場 イ 地域の会場やグループへの出前 ウ 健康づくりのイベント エ 保健活動推進員向け測定機器取扱い研修 オ 糖尿病予防健診【新規】</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 (370千円) 【拡充】 子育て世代へのウォーキング啓発や、保健活動推進員の活動を支援するため、地域へ出向きウォーキング方法の講座を開催します。</p> <p>(3) 元気フェスタ21事業 (250千円) 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携し健康増進に向けた啓発活動を実施します。(ハローよこはまと同時開催)</p> <p>(4) 食育推進事業 (469千円) ア 食生活等改善推進員会やJA横浜等の関係団体や飲食店と連携し、個別食事相談や講座、イベントを開催します。 イ 食育の関係者向けの研修を開催するとともに、ネットワークを構築します。</p>
予算額	2,439千円	
所管課	福祉保健課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 健康ナビゲーション事業			4か月乳幼児健康診査会場(月2回)	● 7/3 機器取扱い研修			● 10/7 イベント	● 11/15 糖尿病予防健診				
(2) てくてくウォーキング事業		● 養育者向け講座		● 地区研修(随時)		● 保健活動推進員会全体研修						
(3) 元気フェスタ21事業				● 実行委員会			● 10/7 実施	● 実行委員会				
(4) 食育推進事業												
ア 食育推進			● 個別食事相談(月1回)									
		● 6/14 イベント						● 11/2 講座	● 12/26 講座			
イ 従事者支援							● 10/11 研修					● 会議

事業名		事業内容
5. 地域包括ケアシステム推進事業		<p>地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者の地域交流促進や介護予防等に取り組みます。この他、在宅医療の推進を目指し、地域ケア会議や事例検討会を実施し、医療と介護関係者の連携を強化します。また、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携し、「居場所づくり」等の支え合い助け合う地域活動を推進します。</p> <p>30年3月に策定した「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区行動指針」を関係機関や団体に配付し協力を依頼する他、区民に高齢期に向けた準備を啓発します。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (790千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、ふれあい運動会や新たにノルディックウォーキング等の各種行事を支援するとともに、加入促進チラシの作成 (8,500部) 及び会員向け研修会を実施します。また、銭湯を会場とした寄席等のイベントを実施し、公衆浴場が地域の交流・介護予防活動の場となるよう支援します。</p> <p>(2) 介護予防事業 (300千円) 【新規】 脳トレリーダー養成講座 (区配付予算事業) 修了者等が主体となって、地域で介護予防講座を実施できるよう、30年度は「中区版コグニサイズDVD」を作成し、住民主体の取組を促進していきます。</p> <p>(3) 認知症支援 (547千円) 認知症高齢者等の介護者を支援するため、臨床心理士による個別相談 (18回・36人) 及び啓発講演会を実施 (9月) します。また、認知症にやさしい地域づくりのため、認知症サポーター企業認証を実施し、認証事業所の取組を区ホームページで紹介します。</p> <p>(4) 寿地区の高齢者支援等に関する検討 (360千円) 寿地区高齢者の介護予防・健康維持のための専門職による個別支援が効果的かつ円滑に行われるよう、支援方法や地域資源との連携強化に向けた課題等について検討を行います。</p>
予算額	1,997千円	
所管課	高齢・障害支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 高齢者の地域交流促進		5/28 ● グラウンドゴルフ大会	6/26 ● ふれあい運動会			9/19 ● 老人福祉大会						
・老人クラブの行事支援		●	●			●						
・加入促進チラシ		← 内容検討・印刷 →							配布			
・研修会の実施								●				
・デイ銭湯事業		← イベントの企画・実施 (5回) →										
(2) 介護予防事業		← コグニサイズDVD作成 →							地域での活用			
(3) 認知症支援												
・個別相談				臨床心理士による個別相談 (18回)								
・介護者向啓発講演会						●						
・認知症サポーター企業認証			← 新規認証、認証事業所の取組をホームページで紹介 →									
(4) 寿地区の高齢者支援等に関する検討							← 検討会の実施 (月1回) →					

事業名		事業内容
6. 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業		<p>自分たちが暮らすまちを、それぞれの地域の個性や魅力が生きる、誰もがいつまでも安心して暮らせるまちにするために、様々な主体が協働して中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」を推進します。</p> <p>(1) 中区地域福祉保健計画推進事業 (2,236千円) 【拡充】</p> <p>ア 第3期計画(平成28～32年度)中間振り返りの実施 地域や区役所等のこれまでの活動・施策を振り返り、今後計画をどのように進めていくかを検討し、第4期計画につなげます。</p> <p>イ 分野別ワークショップの開催とグループインタビューの実施 地域活動に関心のある方や担い手を対象とした地域活動の分野別ワークショップ(こども、高齢者、障害者、外国人等)を開催し、参加者同士をつなぐ場とし、計画推進のための3つの土台づくり(情報・交流・人財)を進めます。また、この場を活用し、第4期計画策定へ向けたグループインタビューを実施します。</p> <p>ウ 地域ケアプラザでの多文化共生の取組 地域の身近な相談窓口である地域ケアプラザについて多言語リーフレットを区独自で作成し、区内で増加・定住傾向がある外国人に対しPRします。また、なか国際交流ラウンジや地域団体と連携し多文化交流推進の取組を地域ケアプラザで行います。</p> <p>(2) 中なかいいネ！みんなで見守り推進事業 (230千円) 民生委員児童委員、保健活動推進員、友愛活動員、自治会町内会関係者など様々な担い手が連携して、多様な形で地域の中での見守り活動ができるよう支援します。</p> <p>(3) 「福祉保健センターからのお知らせ」発行事業 (307千円) 窓口配布分8,000部(参考:広報よこはま折込分76,000部)、録音版の作成(中区社会福祉協議会で貸出)</p>
予算額	2,773千円	
所管課	福祉保健課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 中区地域福祉保健計画推進事業			● 中なかいいネ！ 推進会議の開催							● 区計画振り返りの公表、各 地区振り返り特集の発行		
										● 中なかいいネ！ 推進会議の開催		
(2) 中なかいいネ！みんなで見守り推進事業												
(3) 福祉保健センターからのお知らせ発行事業												

事業名		事業内容
7. 中区障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けることができるよう、区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくりまします。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (540千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催 (35回) イ 支援者のスキルアップを図り、地域社会の理解を深める研修会の開催 (8回：全体研修2回、部会研修6回)</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 (150千円) ポレポレまつり等、区内で開催されるイベントへの参加など、障害者作業所等の自主製品 (ポレポレグッズ) の販路拡大支援を通じ、障害者に対する理解を深め、積極的な社会参加を促します。 ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会に事業運営費を補助 イ 販路拡大委員会の開催支援 (6回) ウ ナカナ・カフェ運営委員会の支援 (6回) エ 区役所内定期販売会の支援 (12回)</p> <p>(3) 障害理解推進事業 (230千円) 障害者差別解消法 (28年4月施行) の理念である「共生社会の実現」に向け、障害に対する理解を促進するため、地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。 ア 啓発用のポスターやチラシの作成と公共機関等への掲示・配布、町内会での回覧、地域の公共掲示板への掲出等 イ 地域防災拠点訓練での当事者参加による啓発活動や、地域の集会・活動等での出張講座及び研修の実施</p>
予算額	920千円	
所管課	高齢・障害支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 関係機関連携推進事業												
ア 自立支援協議会の開催	← 協議会…35回 (代表者会議1・担当者会議29・分科会5)、事務局会議…12回 →											
イ 研修会の開催												
全体研修			●			●						
部会研修			●			●	●	●	●	●		
(2) ポレポレグッズ推進事業												
ア 補助金の交付			●				●					
イ 販路拡大委員会の開催支援		●		●		●		●		●		●
ウ ナカナ・カフェ運営委員会の支援		●		●		●		●		●		●
エ 区役所内定期販売会の支援	← 区役所内定期販売 (毎月) ・合同展示販売会 (6月・11月) →											
(3) 障害理解推進事業												
ア 啓発ポスター・チラシの制作と啓発活動への活用	← ポスター・チラシの制作 → イベントで配布、公共機関等へ掲示、町内会での回覧 →											
イ 出前方式による啓発活動 (学校や地域防災拠点等)				●			●		●			

3 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名	事業内容
<p>1. 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業</p>	<p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、中区は、協議会に対し、活動への補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を都市整備局、文化観光局、市民局と連携しながら行っています。</p> <p>また、まちの活性化には、更なる活動の参画者・担い手を増やしていただくことが重要です。地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に関わる団体だけでなくアーティスト・学生等とも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しています。こうした活動に係る協議会等への支援も通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助 (500千円) ア 防犯啓発活動イベント等の開催 (防犯パトロール毎月ほか) イ 地域防犯拠点 (ステップワン、ステップスリー) の運営・管理 ウ 協議会定例会等の開催 (総会1回、役員会3回、定例会4回)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円) ア 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援 イ 協議会等に係る各種会議の運営・開催支援 ウ まちづくりに関するイベント、ワークショップ等の企画立案 エ 地域活動に係る広報活動の支援 (ホームページ運営、「まちづくりニュース」の編集、視察・記者対応補助等)</p>
予算額	2,000千円
所管課	区政推進課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会		● 総会5/24			● 打ち水イベント		←→ 黄金町バザール2018 (9/21~10/28)					
(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助			● 補助金交付		●		●			●		
(2) 地域活動を支える運営組織の強化	←→ 大岡川桜まつり4/7・8							←→ 大岡川桜まつり実行委員会 (毎月1回)				
			←→ 定例会等の開催、まちづくりニュースの発行 (毎月1回)、防犯パトロール (毎月27日)									
			←→ 定例会等の開催、まちづくりニュース発行 (毎月1回) 等の支援									

事業名	事業内容
2. エコ・食・暮らし 安心風土広め隊	<p>振り込め詐欺や悪質商法被害未然防止のための啓発活動、自立的な消費者の育成や持続可能な消費の実践に向けた教育・啓発活動を推進することにより、暮らしに関する区民の関心を高め、区民自らが「未来を見据えた賢い暮らしの行動」を選択する安心風土の醸成を図ります。</p> <p>(1) 消費生活推進員の育成 ア 地区代表会議の開催（毎月1回 8月・12月を除く） イ 研修等の実施 消費生活推進員が主体的に地域での活動を企画実施できるよう交流や研修の機会を提供し、支援します。</p> <p>(2) 消費生活推進員による地区活動の支援（380千円） 地区連合町内会を基本単位として8地区を構成し、各地区で実施する振り込め詐欺被害未然防止活動や悪質商法未然防止啓発活動、暮らしに関する講座等の開催を支援します。（各地区 年2回以上）</p> <p>(3) 中区消費生活推進員啓発事業の支援（480千円） 消費生活推進員が消費生活に関する課題について学習し、知識を習得するとともに、広く区民に情報提供を行う活動を支援します。 ア 暮らしのセミナーの開催（セミナー3回、施設見学会5月7日） イ ハローよこはまにおけるキャンペーン（10月7日、横浜公園等） ウ 消費生活展・善意バザー（31年2月9日、上台集会所） エ 情報紙の発行（31年2月）</p>
予算額	860千円
所管課	地域振興課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地区代表会議	● 4/4	● 5/2	● 6/6	● 7/4	(休会)	● 9/5	● 10/3	● 11/7	(休会)	● 1/9	● 2/6	● 2/27
研修の実施			● 6/7・27									
地区活動の支援	← 啓発教材・物品の提供、資料作成補助 ほか →											
暮らしのセミナー		● 施設見学会(5/7)	← 企画検討 講師・会場調整 →	● セミナー	← 企画検討 講師・会場調整 →	● セミナー	← 企画検討 講師・会場調整 →	● セミナー				
ハローよこはま				← 企画検討、準備 →			● 開催(10/7)					
消費生活展・善意バザー									● チラシ配布準備	● 開催		
情報紙の発行						● 企画委員選定						● 掲載内容・紙面構成検討 発行

事業名		事業内容
3. ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」を達成するためには、区民・事業者・行政が一体となって取り組むことが重要であるという認識のもと、分別の徹底はもとより、小型家電製品等のリサイクルの推進のほか、生ごみの減量に効果的な「食品ロス（食べ残しや手つかず食品）の削減」及び「生ごみの水切り徹底」等の推進に重点的に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (178千円) ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口 イ 庁舎内設置の資源回収BOX（小型家電、インクカートリッジ）、中図書館及び区役所のリユース文庫による減量化・資源化 ウ 「中区イベント用ごみ箱貸出事業」：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱無料貸与</p> <p>(2) 中区クリーンアップDAY (590千円) 区民・事業者・ボランティア団体等による清掃活動（5月19日実施）</p> <p>(3) 美化運動支援事業 (368千円) まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援（随時）</p> <p>(4) まちの美化対策事業 (700千円) ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ（9回）や学校と連携した放課後クリーンアップ等の実施 イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策 ウ 外国人向けの啓発（チラシ作成、施設見学会、分別講座）</p> <p>(5) 美化推進者表彰 (350千円) まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈（31年3月）</p> <p>(6) 美化推進員事業 (600千円) 美化推進員（環境事業推進委員）による美化推進重点地区の啓発や軽微な清掃活動の実施（年間約150日）</p> <p>(7) 温暖化対策事業 (150千円) 打ち水キャンペーンや打ち水用具の無料貸与を実施（随時）</p>
予算額	2,936千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動	● 大岡川桜まつり		● 簡易包装・水切り推進キャンペーン	● 多文化フェスタ		● 減量・資源化キャンペーン	● 多文化フェスタ ハローよこはま	● エコイセガキ			● なかくっ子フェスティバル	● 善意バザー
	← 小型家電回収ボックス、インクカートリッジ里帰りプロジェクト、中区リユース文庫、イベント用ごみ箱貸出（通年）											
(2) 中区クリーンアップDAY		● 調整・準備開催(5/19)										
(3) 美化運動支援事業	● 大岡川クリーンアップ	● 本牧埠頭統一清掃		● 日本列島クリーン大作戦				● クリスマスクリーンアップ	● 本牧埠頭統一清掃			
	← その他のボランティア清掃の支援（通年）											
(4) まちの美化対策事業 (中華街クリーンアップ9回)	●	●	● 喫煙禁止地区啓発	●				●	● 喫煙禁止地区啓発		●	●
	← 区内の不法投棄場所の対策、外国人へのごみ分別対策（通年）											
(5) 美化推進者表彰								← 推薦依頼		← 準備		● 表彰式
(6) 美化推進委員事業	← 通年											
(7) 温暖化対策事業												
	← 温暖化対策啓発(打水キャンペーン)											

事業名		事業内容
4. 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図っていきます。特に、地域防災拠点の機能強化については、発災時の円滑な避難所運営を目的に、要援護者や女性の視点を取り入れた避難所運営や小・中学生の訓練参加について啓発を進め、引き続き区民の自助・共助の意識を醸成して参ります。</p> <p>また、大地震や風水害への対策について中区総合防災訓練等の各種訓練を通じ、消防署、消防団、警察署等の関係機関と連携を密にすることで、発災時に備えた顔の見える関係作りを進めていきます。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業 (310千円) ア 地域及び企業等に対する減災支援 (通年) (防災減災推進研修～支援編～、防災まち歩き、減災説明会) イ 絆月間における防災・減災講演会 (31年3月) ウ 地震・風水害対策等の啓発 (通年)</p> <p>(2) 災害時の担い手育成事業 (1,320千円) ア 防災出前教室 (通年) 中区防災ガイド(中学生版)の作成及び啓発 (31年3月配布) イ 災害時に活用できる救助資機材取扱研修 (31年3月)</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業 (5,102千円) ア 防災訓練 (ア) 中区総合防災訓練の実施 (11月) (イ) 情報受伝達訓練の実施 (31年1月) (ウ) 帰宅困難者対策訓練の実施 (31年3月) イ 地域防災拠点の充実及び訓練の実施 ウ 本部体制の充実及び災害対策 (通年) エ 各種会議等の開催 (通年)</p>
予算額	6,732千円	
所管課	総務課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 減災行動啓発事業												
ア 地域及び企業等に対する減災支援	← 防災まち歩き・減災説明会・防災減災推進研修(自治会・町内会の支援)の実施 →											
イ 絆月間における防災・減災講演会												●
ウ 地震・風水害対策等の啓発												
(2) 災害時の担い手育成事業												
ア 防災出前教室												
・中区防災ガイド(中学生版)												●
イ 救助資機材取扱研修												●
(3) 防災訓練・災害対策事業												
ア 防災訓練												
(ア) 中区総合防災訓練										●		
(イ) 情報受伝達訓練												●
(ウ) 帰宅困難者対策訓練												●
イ 地域防災拠点の充実及び訓練												
ウ 本部体制の充実及び災害対策	●						●					
エ 各種会議等	●	●	●				●					●
	4/25、4/26 職員研修	5/18 危機管理委員会	6/7 災害対策連絡・地域防災拠点運営委員会協議会総会				10月頃 本部運営訓練					3月頃 第2回関係機関会議

事業名		事業内容
5. 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、高齢者を狙った振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策を推進します。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 (232千円) 中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。 ア 総会の開催 (5月22日) イ 各種防犯キャンペーンの実施 (5月21日・10月) ウ ハローよこはまへの出店 (10月7日) エ 地域の安全・安心を考える集い「寄席de防犯」の開催 (31年2月) オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催 (年5回)</p> <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページ、広報よこはまなどを活用して広く区民に配信します。</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 (1,705千円) ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、 市立小学校 (4月に新1年生へ防犯ブザー貸与)</p> <p>(4) 防犯教室・講座事業 (427千円) 地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
予算額	2,364千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 地域自主防犯活動委員会		●早朝キャンペーン (5/21) ●総会 (5/22)		●		●	●ハローよこはま出店 (10/7)	●			●寄席de防犯	●
							安全安心旬間					
(2) 防犯情報配信事業	←安全・安心メールの配信 (週1回)→											
(3) 中区地域防犯活動支援事業	←防犯ブザーの貸与 (4月)、防犯物品貸与 (随時)、活動費助成 (上半期交付)→											
(4) 防犯教室・講座事業	←こども向け防犯教室 (保育園・学校の希望により随時)、高齢者向け防犯教室→											

事業名	事業内容
6. 放置自転車対策・交通安全啓発事業	<p>区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故への対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みます。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 (150千円) ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 各キャンペーンへの参加 ウ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力 エ 放置自転車等移動要望への対応</p> <p>(2) 交通安全啓発事業 (1,428千円) ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～) ウ スクールゾーン対策の実施 (7月～) エ 各団体への補助金交付 (5～7月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 高齢者及び自転車交通事故対策会議の開催 (年2～3回)</p> <p><参考> (道路局区配付予算) ・ 放置自転車等監視業務の実施 ・ スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (11月)</p>
予算額	1,578千円
所管課	地域振興課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 放置自転車対策事業												
放置自転車等監視業務	← 通年 随時 →											
啓発物等配布	← 随時 →											
各駅自転車等放置防止推進協議会への支援	← 随時 →											
各キャンペーンへの参加	← イセザキ・モール合同パトロール (月1回、第2火曜日) →											
放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力	← 中華街クリーンアップ (年9回) 随時 →											
(2) 交通安全啓発事業												
中区交通安全対策協議会への支援	● 総会 功労者表彰 (4/27) 中区キャンペーン (4/6)					● 幹事会	● 交通安全フェア (10/7)					● 幹事会
中区交通安全こどもポスターコンクール	← 募集～審査～表彰 → 展示 → 作品活用 →											
スクールゾーン対策	← 各区用議会への参加 → 路面標示、電柱巻等対策 →											
各団体への補助金交付	← →											
交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援		● 総会						● 養成研修会、交通安全研修会	●			
交通安全教室・交通安全運動への協力	← はまっ子交通あんぜん教室 →											

事業名		事業内容
7. 食の安全・安心事業		<p>食品取扱施設に対する効果的かつ効果的な監視指導の実施と、従事者や消費者に対する衛生教育・情報発信の充実により、食中毒の発生件数を抑えるとともに、発生した食中毒の拡大・再発を防止します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保事業 (910千円)</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的・効率的な監視指導 中華街や区内のホテル、宴会場、社会福祉施設等に対し、迅速検査を併用した監視指導のほか、多言語チラシを活用した啓発を実施します。</p> <p>(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導 赤レンガ倉庫や大さん橋等で開催される食品が提供される大規模イベントの主催者や出展者に対し、衛生的な取扱いの指導を行います。</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 区内の保育園や高齢者施設に対し、施設に立入点検や助言を行うとともに講習会等を通じて食中毒予防を支援します。</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業 (510千円)</p> <p>ア 食品衛生講習会等 消費者や食品取扱者に対して、食の安全に関する食品衛生講習会を開催するとともに自治会や町内会向けに食中毒予防の注意喚起を行います。</p> <p>イ パネル展 区役所本館、別館庁舎内等において食中毒予防のパネル展を実施します。</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン 消費者を対象とした食中毒予防のイベントを飛鳥Ⅱやイセザキモール等で開催します。</p>
予算額	1,420千円	
所管課	生活衛生課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 食品取扱施設の衛生確保												
ア 食品取扱施設の衛生対策												
(ア) 効果的・効率的な監視指導	← 施設の監視指導・抜取検査 →											
(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導	← イベントの事前相談・監視指導 →											
イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援	← 立入点検・助言、講習会による啓発 →											
(2) 食の安全に関する情報発信												
ア 食品衛生講習会	← 市民向け講座の実施・広報よこはま等の掲載 →											
イ パネル展	← 講習会の実施 →											
ウ 食中毒予防キャンペーン	← 別館パネル展・ぱびぼ広場等 →											
・ 食中毒予防パレード					● (8/1)							
・ 飛鳥Ⅱ 船内探検					● (8/19)							
・ 元気フェスタ							● (10/7)					

事業名		事業内容
8. 動物適正飼育推進事業		<p>犬猫等の糞尿の不適切な処理や公園での放し飼いなど飼主のマナー違反に起因する苦情が、区民から多数寄せられていることから、飼主に対し適正飼育を啓発しマナー向上を図り、事故やトラブルを防止します。</p> <p>災害時のペット対策については、飼主のほかペットを飼っていない人に対しても必要性を周知することが求められており、地域防災拠点の関係者を中心に、災害時ペット対策の必要性を啓発、特に飼主に対しては日ごろの準備を中心に啓発を実施します。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時のペット対策の検討やルール作りを支援します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (283千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、獣医師会と連携して、犬の飼主に啓発を実施します。</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者に啓発を実施します。</p> <p>ウ 放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携して、散歩中の飼主に対して啓発、指導を実施します。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (560千円)</p> <p>ア ペットの飼主や防災拠点関係者等を対象に講習会を開催し、災害時ペット対策の普及を図ります。</p> <p>イ 各防災拠点の拠点訓練時に、災害時ペット対策に関する啓発の実施を提案し、これを支援します。</p> <p>ウ 30年度も検討を継続する大鳥、立野、元街、間門の4拠点について活動を支援するとともに、他の拠点においては検討組織の立ち上げを促し同行避難訓練の実施等により課題を確認しながら、災害時ペット対策に関する検討とルール作りを支援します。</p>
予算額	843千円	
所管課	生活衛生課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 動物適正飼育推進事業												
ア 予防注射会場での啓発	啓発実施											
イ イベント会場での啓発		● (5/19)	● (6/16)			● (9/15)	● (10/20)	● (予定)				
ウ 大規模公園での啓発・指導	巡回指導の実施											
・ 適正飼育講習会開催									● (予定)			
(2) 災害時ペット対策推進事業												
ア 災害時ペット対策講習会開催												● (予定)
イ 地域防災拠点に対する普及啓発	拠点運営委員会への説明		拠点訓練における啓発実施									
ウ 地域防災拠点における検討支援	拠点運営委員会への説明		検討組織の立上げ、活動支援の実施									

4 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名	事業内容
1. 感動区役所推進事業	<p>区民満足度向上（感動区役所）を目指すため、区民サービスへの職員意識向上及び区庁舎の改善を推進していきます。</p> <p>(1) CS及びES向上事業（530千円） CS向上事業については、課長をリーダーとし、職員の中からサブリーダーを選び、区役所全体でお客様満足度の向上に取り組めます。また、ES向上については、職場を越えた横断的な組織（中LOVEプロジェクト等）により「チーム中区」としての結束力を高めます。加えて、職員表彰を実施します。</p> <p>(2) 人権啓発事業（677千円） 区民及び職員の人権意識の向上を目指します。 ア 区民・区内企業対象の人権啓発講演会 イ 責任職及び職員対象の人権啓発研修</p> <p>(3) 親しまれる区庁舎改善事業（19,017千円）【拡充】 老朽化が進む本館について、2020年のオリンピック・パラリンピック開催を見据え、来庁者にとって、より分かりやすく、利用しやすい、快適な庁舎となるよう庁舎環境整備の取組を進めます。 ア 総合窓口案内・警備業務委託（通年） イ 庁舎（本館）案内サイン更新、外周りの仕様検討等</p> <p><参考>（市民局区配付予算） 本館6階トイレ改修工事</p>
予 算 額	20,224千円
所 管 課	総務課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) CS及びES向上事業 CS向上事業 ES向上事業	PJ 募集	● PJ 承認	● CSリーダー・サブリーダー研修	← 各PJで活動	← 各PJで活動	● 中間報告会	● 中間モニタリング・コンサルティング	● 職員表彰の実施	← 各PJで活動	● 最終報告会	● 最終報告会	
(2) 人権啓発事業		● 推進委員会	← 職員研修	← 職員研修	← 職員研修	← 職員研修	← 職員研修	● 人権啓発講演会				
(3) 親しまれる区庁舎改善事業	← 総合窓口案内・警備業務委託	← 案内サイン更新・外周りの仕様検討等	← 案内サイン更新・外周りの仕様検討等	← 案内サイン更新・外周りの仕様検討等	← 案内サイン更新・外周りの仕様検討等	← 案内サイン更新・外周りの仕様検討等	← 案内サイン更新・外周りの仕様検討等	● 一部施工	← (区配事業)本館トイレ改修工事	← (区配事業)本館トイレ改修工事	← (区配事業)本館トイレ改修工事	← (区配事業)本館トイレ改修工事

事業名		事業内容
2. 多文化共生推進事業		<p>中区は外国人が市内で最も多く、人口の1割強を占めています。中区多文化共生推進アクションプラン（29年6月策定）を踏まえ、日本語がわからない外国人区民に対して広報紙やホームページ等により、わかりやすく行政・地域情報を伝えます。</p> <p>また、アクションプランの行動計画を着実に実行し、多様な人が住みやすいまちづくりを目指し、多文化共生を推進します。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業（2,091千円） 「Naka Ward Town News」（英語）と「春夏秋冬」（中国語）を発行し、中区在住の外国籍住民に役立つ生活情報、行政情報等を掲載します。 発行回数及び発行数：年4回（英語・中国語各4,100部）</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業（804千円） 英語、中国語、ハングル、やさしい日本語のホームページを月1回更新します。特集（広報よこはま・なか区版からの抜粋）、イベント情報、生活情報等を掲載し、タイムリーに情報提供します。</p> <p>(3) 区民生活マップ作成事業（1,800千円） 区民生活マップは、日本語版及び外国語版（英語、中国語）を発行しています。30年度は日本語版を作成します。 作成部数：30,000部 発行実績：中国語（H29） 英語（H27） 日本語（H26） 日本語（H24）</p> <p>(4) アクションプラン事業（3,600千円）【新規】 中区に転入してきた外国人住民に最低限必要な情報を母語で伝える「ウェルカムキット」を作成します。ワールドカフェについては、実施方法を見直します。</p>
予算額	8,295千円	
所管課	区政推進課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 多言語広報紙発行事業	●			●			●			●		
(2) 多言語ホームページ運営事業	← ホームページ運営（通年） →											
(3) 区民生活マップ作成事業				← 事前準備（庁内調整） →				← 仕様調整 契約 →	●	← 作成・校正 →		●
(4) アクションプラン事業 「ウェルカムキット」	← 構成企画・原稿作成 →						●	← 契約 →	← 作成 校正 →	●		

事業名		事業内容
3. 広報・広聴事業		<p>広報よこはま・なか区版の発行、「市民からの提案」等の広聴の受付・回答、法律相談及び中区ホームページの運営、ツイッター等による情報発信を行います。</p> <p>(1) 広報事業 (7,233千円) 広報よこはま・なか区版を市版とあわせて毎月1回発行します。</p> <p>(2) 広聴事業 (30千円) 「市民からの提案」等の広聴に対応します。</p> <p>(3) 特別相談事業 (900千円) 弁護士による法律相談を、毎月第1～3火曜に実施します。</p> <p>(4) 広報相談係運営事業 (983千円) 広報配布団体との連絡・調整を行います。</p>
予算額	9,146千円	
所管課	区政推進課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 広報事業	← 広報よこはま・なか区版 (毎月1日発行) →											
(2) 広聴事業	← 広聴受付、回答 (通年) →											
(3) 特別相談事業	← 法律相談 (毎月3回 (第1～3火曜日、休庁日除く)) →											

事業名	事業内容
4. なか国際交流ラウンジ運営事業	<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 日本語が全くできない外国人のための日本語教室事業 (180千円) ア 日本語教室開催 (前期30人: 5月～10月、後期30人: 11月～31年3月) イ 日本語教室受講者への119番通報体験 (6月)・ごみ分別講習</p> <p>(2) 日本語ボランティア養成事業 (320千円) (各ボランティア教室と連携) ア 日本語ボランティアの養成 入門講座 (全8回程度) ブラッシュアップ講座 (全4回程度) イ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (5月、12月)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業 (790千円) ア 国際理解セミナーの開催 (年2回) イ 多文化フェスタ開催 (9月23日 開港記念会館) ウ 多文化交流会 (地域と連携した交流会)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア育成・活用事業 (1,100千円) 【拡充】 ア 地域のイベント等に通訳を派遣 イ 地域の作成するチラシ等をボランティアが翻訳 ウ ボランティアを募集・育成し、コーディネートを実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 (240千円) 【新規】 各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施</p> <p>(6) その他運営・事務費等 (2,479千円)</p>
予算額	5,109千円
所管課	地域振興課

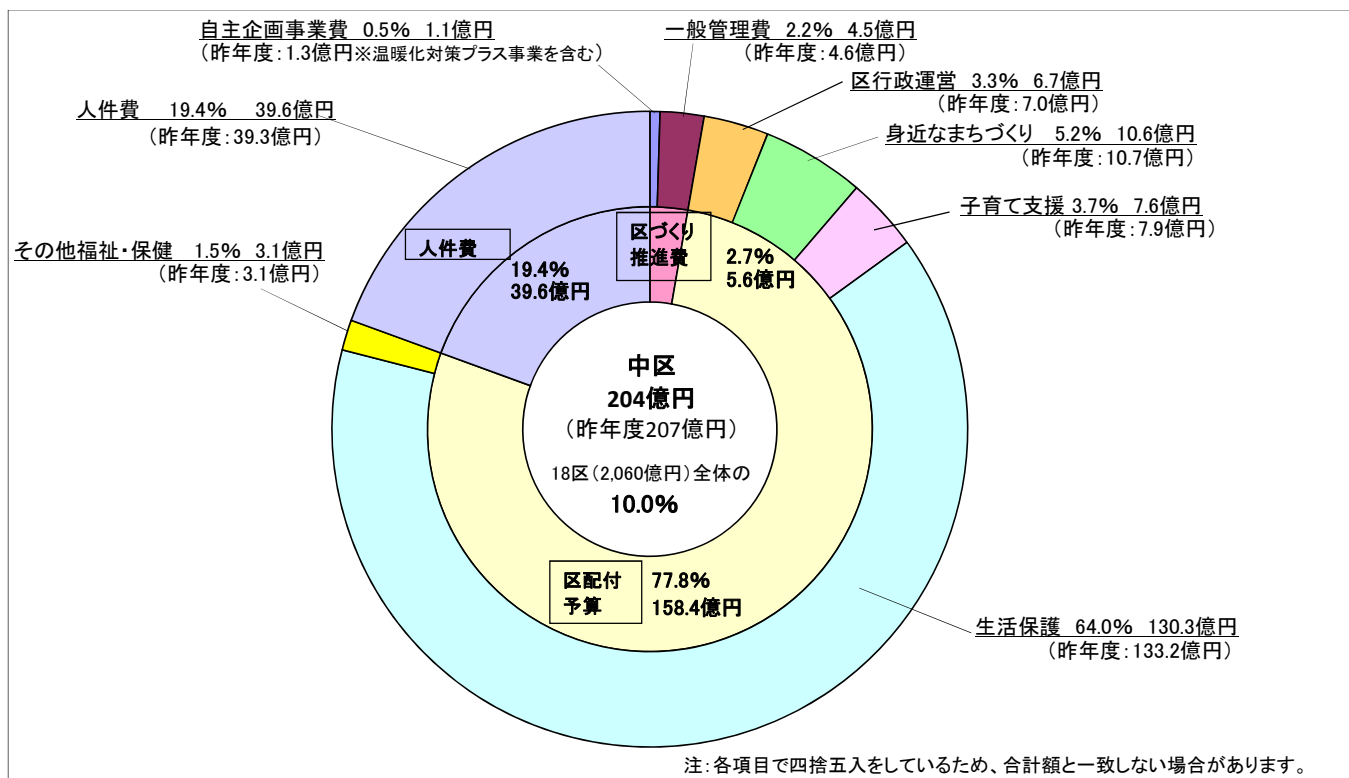
執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 日本語教室事業		日本語教室 (週2回) 開催【前期: 5/15～10/11】						【後期: 11月中旬～3月中旬】				
(2) 日本語ボランティア育成			ブラッシュアップ講座 (全4回程度)				入門講座 (全8回程度)					
(3) 多文化交流・多文化理解事業		● 日本語教室連絡会						● 日本語教室連絡会				
(4) 多文化共生ボランティア育成・活用事業		● ボランティア説明会	● 自治会等説明会									
(5) 簡易な案内等の翻訳		● 各所属説明会										
(6) 相談窓口・情報提供の充実												

<参考>

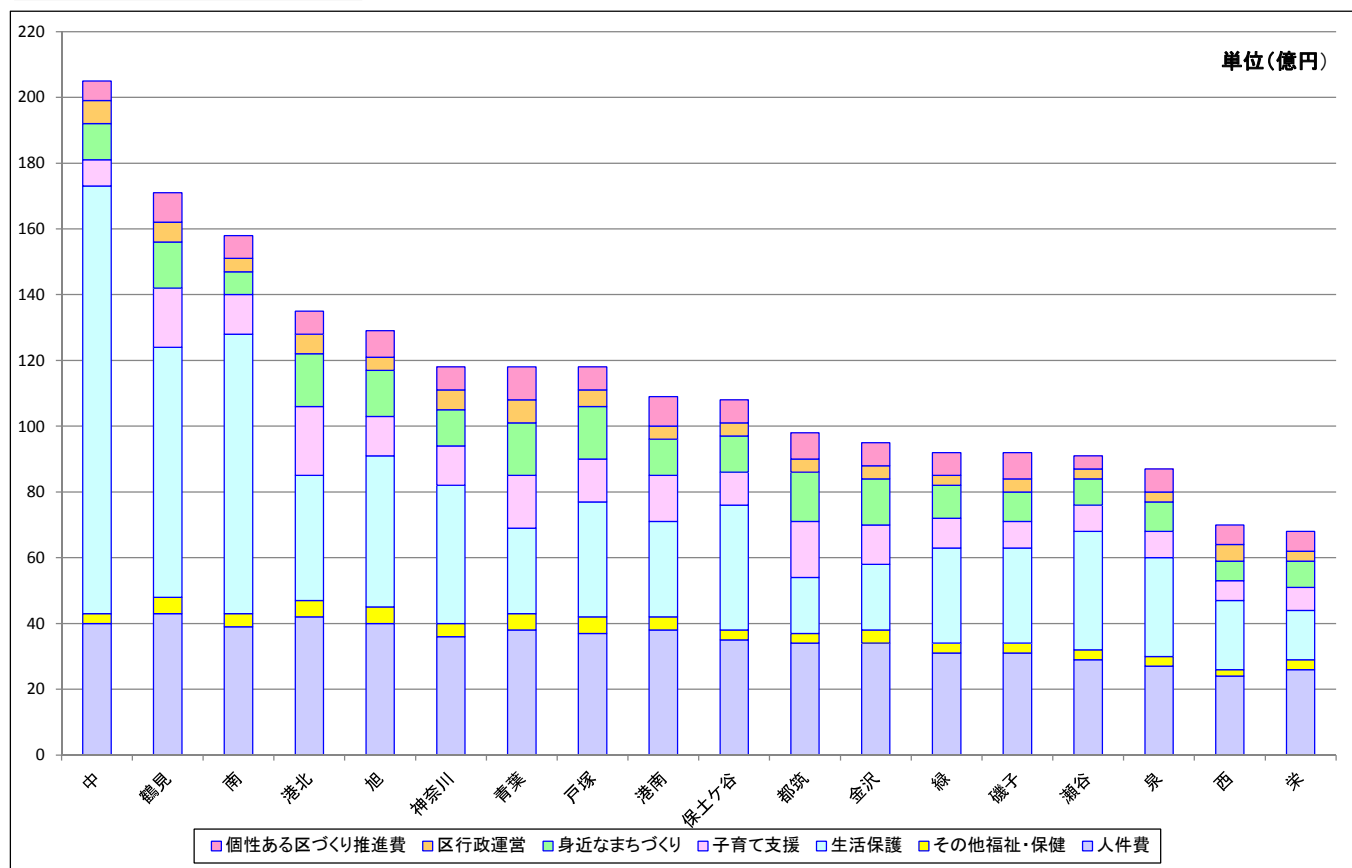
中区に係る予算のすがた（平成30年度一般会計予算）

個性ある区づくり推進費や区配付予算、人件費が含まれる一般会計のうち、中区に係る予算について、次のグラフに特徴を示しました（特別会計、公営企業会計は除いています）。

グラフ1 中区予算額の内訳



グラフ2 各区予算額の概況



主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	559	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	106	区が地域の課題やニーズに迅速かつきめ細かく対応するための予算及び各局から配付されていた予算を束ねたもので、局が定めた一定の条件に基づいて地域の実情に応じて編成・執行する予算です。
一般管理費	453	生活保護や戸籍・住民登録等に係る事務費や、区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	15,838	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区行政運営	672	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	250	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	13	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	11	各種統計調査を行うための経費です。
その他	398	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,063	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,179 百万円
道路修繕費等	969	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	3	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(116)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	90	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	760	(福祉保健センターが執行する予算です。)
民間保育所運営	27	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費です。
市立保育所運営	190	保育に欠ける乳児、幼児を保育する保育所の運営費などです。
横浜保育室助成	210	本市独自の基準を満たす認可外保育施設のうち、地域状況等を踏まえて認定したよこはま保育室に助成するための経費などです。
放課後児童健全育成	176	地域の理解と協力のもと、保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通じた健全な育成を行う放課後児童クラブ運営委員会への補助金などです。
その他	158	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。
生活保護等	13,029	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	13,007	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	22	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
その他福祉・保健	314	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	125	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	24	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	165	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
人件費	3,955	
職員人件費	3,955	総務局人事部労務課公表「平成30年度職員人件費予算の目安」より
合 計	20,352	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 20,468 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。また、現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。